



J.S.N.H.D

第64回日本新生児成育医学会・学術集会

先天性 サイトメガロウイルス 感染の診療の進歩



座長

森岡 一朗 先生

日本大学医学部小児科学系小児科学分野 主任教授



演者

森内 浩幸 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学 教授



日時

2019年11月27日(水)

12:10 ~ 13:10

会場

第4会場

SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4F [パール]

教育セミナーは整理券制です。

■配布場所：SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4階「エメラルドロビー」

■配布日時：11月27日(水) 8:00-11:30

※配布枚数には限りがございます。なくなり次第、配布を終了させていただきます。

※整理券はセミナー開始5分後に無効となります。

CMV

先天性サイトメガロウイルス (CMV) 感染の診断は、生後 21 日以内の尿を検体として核酸増幅法によって CMV ゲノム DNA を検出することが必須であり、待望の診断キットが保険収載された。

せつかくの診断の機会（そしてそれに続く治療介入のオプション）を逃すことがないように、下記のような状況では積極的に検査を進めて欲しい。

どのような新生児に 先天性 CMV 感染 の検査が必要か？



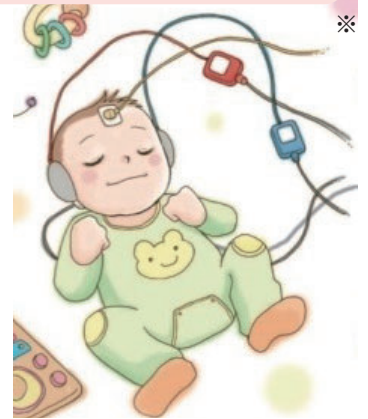
胎児エコー /MRI の所見が先天性 CMV 感染症に合致する



母体に妊娠中の CMV 初感染が疑われる*
・ CMV-IgG 陽転
・ CMV-IgM 陽性 + IgG Avidity Index 低値



先天性 CMV 感染症に合致する症状が認められる (下記)



新生児聴覚スクリーニング (NHS) で refer (要精査) とされた**

**NHS refer 児を Targeted CMV screening の対象とする試みもある

※ 日本耳鼻咽喉科学会『新生児聴覚スクリーニングマニュアル』より引用

* 妊婦の感染の多くは不顕性または非特異的な症状

先天性 CMV 感染に伴う症状・所見

臨床的に認められる症状

- ・ SGA (出生時体重 < -2SD)
- ・ 小頭症 (頭囲 < -2SD)
- ・ 出血斑
- ・ ブルーベリー・マフィン皮疹
- ・ 病的黄疸
- ・ 肝腫大
- ・ 脾腫大
- ・ 神経学的異常 (嗜眠、筋緊張低下、痙攣、吸啜反射減退など)

偶然または精査の過程で見つかる所見

〈検査所見〉

- ・ 血小板減少
- ・ 貧血、白血球 (好中球) 減少
- ・ 総 IgM 上昇
- ・ AST/ALT 上昇
- ・ 直接 (抱合型) ビリルビン上昇
- ・ 髄液：検査値異常、CMV DNA+

〈脳画像検査〉

- ・ 石灰化、脳室周囲嚢胞、脳室拡大、上衣下偽性嚢胞、白質異常、皮質萎縮、神経細胞異常障害、小脳低形成、レンズ核線条体血管症など

〈聴力検査〉

- ・ 片側または両側の感音性難聴

〈眼科的所見〉

- ・ 脈絡網膜炎、網膜出血、視神経萎縮、斜視、白内障